



2025年12月23日

各 位

会社名 日本パレットプール株式会社
代表者名 代表取締役社長 浜島和利
(コード番号: 4690) 東証スタンダード市場
問合せ先 執行役員 木下 耕治
(TEL: 06-6373-3231)

2025年度当社取締役会の実効性の分析・評価結果の概要について

この度、『コーポレートガバナンス・ガイドライン』の運営指針に基づき、当社取締役会の実効性を分析・評価いたしましたので、その結果の概要を以下の通り開示いたします。

I. 分析・評価方法

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するため、2025年11月に取締役会事務局が作成した取締役会実効性評価項目に基づき、社外を含む全取締役、監査役9名が評価を実施し、その結果について2025年12月の取締役会で報告があり、議論を行いました。

II. 評価項目

取締役会実効性評価の主な項目は以下のとおりです。

1. 取締役会の構成
2. 取締役会の運用
3. 取締役会の議題
4. 取締役会を支える体制
5. 昨年度評価の低かった項目の改善状況

III. 分析・評価結果の概要

各取締役による取締役会の実効性にかかる評価の結果、上記の各評価項目について、概ね適切であることが確認されました。評価項目別の概要については以下のとおりです。

1. 取締役会の構成について

取締役としての役割を果たすための必要な時間、取締役会の人数、社外取締役の人数、及び構成員の多様性については、概ね適切であるとの意見が出ました。

2. 取締役会の運用について

取締役会の資料の事前検討時間、審議時間、発言できる雰囲気及び議案の分量につい

ては概ね適切であるとの意見が出ました。

3. 取締役会の議題について

議題の選定については概ね適切であるが、企業戦略の大きな方向性を示す議論や中期経営計画の進捗状況などの議論が少ないとの意見が出ました。

4. 取締役会を支える体制について

会社に対して追加情報を求める機会や外部の専門家の助言を得る機会については、概ね確保されているとの評価であったが、役員就任時の事業・財務・組織等の説明について体系的に整備すべき、各ブロックの概況について担当執行役員から説明して欲しいなどを要望する意見が出ました。

5. 昨年度評価の低かった項目の改善状況

A. 「企業戦略の大きな方向性の審議が少ない」の改善状況

まだ不十分との意見が多く出ました。

B. 「中期経営計画の進捗状況等の報告や議論が少ない」の改善状況

まだ不十分との意見が多く出ました。

C. 「役員就任後の各種専門家による勉強会の開催要望」の改善状況

概ね改善されたとの意見が多く出ました。

IV. 今後の対応

当社取締役会は、これらの課題について議論を重ね、取締役会の実効性の向上を図り、これからも中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

以上